

## 抄録作成チェックリスト

下記については、抄録でよくある修正事項です。こちらは抄録作成の基本的なチェック項目になりますので、より詳細な内容については「抄録作成時の注意点」をご覧ください。

### タイトル

- ・商品名、未承認材料名が入っていない。   
(未承認材料を使用することが倫理委員会で認められている場合は可。ただしこの場合も商品名は記載しないこと。)
- ・施設名を入れていない。
- ・「第〇報」という表現を使用していない。
- ・英文タイトルは、最初の文字のみ大文字で後は小文字になっている。
- ・略語を入れていない（抄録作成時の注意点のリストにあるものは使用して可）

### 演者

- ・筆頭演者および共同演者が本会の会員である。 ⇒ 非会員の方は入会してください。
- ・筆頭演者が発表者となっている。
- ・発表者数は研究報告では8名、多施設にわたる疫学調査では12名までになっている。症例報告では8名までになっている。
- ・氏名の英語表記が 姓が半角大文字 名が半角大文字イニシャル表記となっている。  
例) 山田 太郎 YAMADA T

### 所属

- ・個人歯科医院名を使用していない。 ⇒ 所属支部または学会指定の研修施設名に変更してください。

### 本文

- ・発表内容が発表済みあるいは他学会で発表予定ではない。
- ・形式を研究報告では、Ⅰ目的：Ⅱ材料および方法（もしくは対象および方法）：Ⅲ結果：Ⅳ考察および結論：の項目ごとに表記されている。（“及び”は“および”と表記）  
症例報告では、Ⅰ目的：Ⅱ症例の概要：Ⅲ経過：Ⅳ考察および結論：の項目ごとに表記されている。
- ・項目のあとに全角一字分の空欄をあけている。 ⇒ 例) Ⅰ目的：この研究は～
- ・句読点は「、。」ではなく全角の「，。」になっている。
- ・本文の文字数は1000字（全角）の70%以上の字数を満たしている。
- ・略語は初出時に定義し、括弧書きで略語を表示している（抄録作成時の注意点のリストにあるものは定義せず使用して可）
- ・謝辞を入れていない。 ⇒ 謝辞は削除してください。
- ・動物実験およびヒトにおける研究については、所属機関倫理委員会の承認（要承認番号）を受けていることを明記している。
- ・症例の報告では、末尾に患者の同意について記載している
- ・薬事未承認材料のヒトへの使用においては、倫理委員会の承認（要承認番号）ならびに患者の同意を得ていることを明記している。